学校番号	１０６

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　国語総合　改訂版」　（三省堂）						
副教材等	「意味で覚える漢字トレーニングセレクト」（いいずな書店）、「現代文解法のテクニック１（基礎編）」（啓隆社）、「基本の古文　大学入学共通テスト対策版」（尚文出版）、「記入して覚える　古典文法クリアノート」（尚文出版）、「古典常識も学べる　新明説総合古典文法」（尚文出版）、「ニューエイジ漢文基礎」（第一学習社）、「カラー版新国語便覧」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習方法としては日々の授業に臨むにあたり提示される課題に主体的に取り組みましょう。授業では、教科書からの課題の他に定期的に行われる漢字の小テストにもしっかり取り組み、必要な語彙も身に付けていくようにしましょう。

２　学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	・伝え合う力を高めるために、言語文化に対する関心を深めようとし、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・目的や状況に応じて相手の話を聞いたり、考えを話したりすることで自分の考えを深めている。	・目的や状況に応じて適当な表現を選択し、文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	・文章を正確に読み取り、目的に応じてさらに深く読み込むことで自分の考えを深めている。	・漢字や熟語、ことわざ、慣用句などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業中の取組み ・宿題や提出物の状態 ・出席状況	・授業中の取組み ・相互評価 ・授業での発表の様子	・授業中の取組み ・定期テスト ・提出物の状態	・定期テスト ・宿題や提出物の状態など	・小テスト ・定期テスト ・宿題や提出物の状態

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動（現代文分野）

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随想	『ぐうぜん、うたがう、読書のススメ』 ・「読書について、筆者の言葉を通じて考えようとする。 ・述べられた事例に着目し、筆者の考えを読み取る。 ・主な常用漢字について使い方を理解する。	○			○	○	a「本を一冊手に取るという場面」に満ちている「一回性」の出会いの意味について考えを深めようとしている。 d述べられた事例から，筆者の考えを読み取っている。 e主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
	評論	『自然をめぐる合意の設計』 .「自然」をめぐる「遠景の語り」と「近景の語り」という相反する考え方について興味と関心を持とうとする。 .筆者の考えを踏まえ，「近景の語り」と「遠景の語り」の相容れなさについて読み取る。 .読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	○	○		○	○	a:「自然」をめぐる「遠景の語り」と「近景の語り」という相反する考え方について興味と関心を持とうとしている。 b：論理の展開から，筆者の考えを理解している。 d:読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。 e:本文中の語句の意味などの知識が身についている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
	評論	『水の東西』 ・二項対立的な評論の読み方を知る。 ・水を中心に見た西洋文化と日本文化の差異を読み取る。 ・本文から他国の文化と自国の文化の差異を知り、理解を深める。	○	○		○	○	a:自国と他国の文化の差異を知り、理解しようとしている。 b:西洋文化と日本文化の差異を本文から読み取り、具体的にどのような差異が本文中に挙げられているか交流している。 d：二項対立的な評論の読み方を身に付けている。 e:文化の違いを理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態

	小説	『青が消える』 ・小説の読み方を知る。 ・村上春樹に対する理解を深める。 ・登場人物の心情や行動を理解し、夢幻的な世界観を読み味わう。	○	 ○		○	 ○ ○	a:小説を読み味わおうとしている。 b:登場人物の心情や行動を周りとの交流の中で読み取っている。 d:小説の読み方を習得している。 e:村上春樹についての知識を身に付けている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
二学期	短歌・俳句	『その子二十--短歌十六首』 ・短歌の理解、鑑賞の仕方を知る。 ・それぞれの短歌について，表現されている情景や感動の中心を読み取る。 ・自分の出来事や感情を短歌として表現し、他の生徒と交流する。 ・短歌についての基礎的な知識を身につける。	○	 ○ ○	 ○	○	 ○	a： それぞれの短歌の内容を理解しようとしている。 b： それぞれの短歌について，その情景や感動の中心について，整理して説明している。 c：短歌を作って他の生徒と鑑賞しようとしている。 d： 韻律や句切れなどの，短歌の基礎的な構造を読み取り理解している。 e 短歌の基礎的知識を身につけた	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
	評論	『言語は色眼鏡である』 ・「言語」は，それが話される社会の世界観を反映しているという考えについて問題意識を持つ。 引用事例に着目し，筆者の主張を読み取る。 ・読むことに必要な概念を理解し，使いこなせる。	○			○ ○	○	a: 「言語」は，世界観を反映した「色眼鏡」であることを理解しようとしている。 d： 引用された事例から，筆者の考えを理解している。 e: 読むことに必要な概念を理解し，使いこなせている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
	小説	『羅生門』 ・小説の読み方を知る。 ・登場人物の性格・心情・行動を本文から読み取る。 ・芥川龍之介について知る。 ・本文の一部を書き換え、その作品について交流する活動を通し、内容の理解を深める。	○	 ○	 ○	○ ○	 ○	a:登場人物の性格・心情・行動を読み取ろうとしている。 b:本文の内容を踏まえ、書き換えたものを基に交流ができる。 c:本文の内容を読み取り、理解した上で物語の書き換えができる。 d:内容を読み取ることができる。 e：語句等を知り、作者についての知識を身に付けている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態

	評論	『コインは円形か』 ・言語表現について関心をもつ。 ・文章に用いられている表現技法の特徴を捉える。 ・常用漢字の読みに慣れる。	○	○		○	○ ○	a：レトリックに関心をもち，その効果について考えようとしている。 b:レトリックについて調べ、相互に発表する。 d：筆者の主張や文章の内容を捉え，レトリックとは何かを理解している。 e：常用漢字の正しい音訓を身につけている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
三学期	評論	『命は誰のものなのか』 ・筆者が述べる，分配されたものとしての「命」という考え方を理解しようとする。 ・引用事例および筆者の論理展開に着目し，筆者の主張を過不足なく読み取る。 ・読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	○	○		○ ○	○	a：筆者が述べる，分配されたものとしての「命」について理解しようとしている。 b：引用事例および筆者の論理展開に着目し，筆者の主張を過不足なく読み取っている。 d：読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。 e:評論の読み方を習得する。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態 定期テスト 宿題
	小説	『空缶』 ・人物の心情や行動を理解し，場面の推移を捉えながら，登場人物の原爆との向き合い方について理解しようとする。 ・描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み，場面の推移や人物の心理の変化を理解する。 ・主な常用漢字について使い方を理解する。	○	○		○ ○	○	a：「私」を含めた６人が過ごしてきた戦後と心情の変化を理解し，自分の考えを持とうとしている。 b:当時の原爆投下について調べ、互いに発表し意見を交換する。 d：時間軸や語りの視点に注意して，作品世界の状況を把握し，人物の考え方とその変化を理解している。 e：主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	授業の取組み 出席状況 提出物の状態

学習の活動（古典分野）

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期		『検非違使忠明』 ・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歴史的仮名遣い、文語と口語の違いを理解する。	○			○	○ ○	a:声に出して本文を読んでいる。古文特有の語の意味を古語辞典で調べている。内容を理解しようとしている。 d:内容を展開に即して理解している。 e:歴史的仮名遣いを理解し、正しく音読できる。古文の特有の語や文法を認識している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
		『絵仏師良秀』 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとする。 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取る 歴史的仮名遣いと用言について理解する。	○ ○			○	○	a 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとしている d:歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取っている e:歴史的仮名遣いと用言について、特に動詞の活用について理解している	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
		『訓読に親しむ』 ・漢文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・漢文を自国の文化に取り入れた先人の工夫を理解し、今後の学習のポイントを理解する。	○ ○			○	○ ○	a:中国語を日本語として読む漢文の工夫とその意義を理解しようとしている。 d:返り点、送り仮名を理解し、訓点付き漢文を正しく書き下し文に改めている。正しく訓読し音読している。 e:漢文のきまりと読み方、意味、用法、返り点について理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態

二学期		『竹取物語』 ・昔話としてなじみのある作品を読み、音読によて古文の調子に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・用言の活用を理解する。 ・口語訳の力を身につける。	○			○	○ ○	ａ語句や表見に即して物語の展開を読み取ろうとしている。音読によって古文の調子を味わおうとしている。 ｄ:内容を展開に即して理解し、登場人物の行動と心情を読み取っている。 e：動詞・形容詞・形容動詞の活用を理解し、活用表が作成できる。『竹取物語』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
	物語を楽しむ	『漁夫之利』『狐借虎威』 ・漢文訓読の基本事項を確認し、音読によって漢文の調子に親しむ。 ・平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 ・故事成語の話の内容を捉え、故事成語の現在使われている意味を理解する。 ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、通して、日本文化をより深く理解する。	○ ○			○ ○	○ ○	a:よく知られた故事成語について深く学ぼうとしている。正しく音読し漢文の調子を味わおうとしている。 d:訓点に従って読み、内容を理解している。 e:故事成語の現在の意味について理解している。訓点に従い、漢文を正しく書き下し文に改めている。句形の読み方と意味を理解している	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
		『徒然草』 ・随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現上の特色を理解し、音読することによって優れた表現に親しむ。 ・用言を理解したうえで、助動詞について理解を深め、口語訳に生かす。 ・敬語について理解する。	○ ○			○ ○	○ ○	a:重要語句の意味を古語辞典で調べている。音読し内容を理解しようとしている。 ｄ内容を構成や展開に即して理解している。随筆のおもしろさを理解している。 e：『徒然草』について、文学史上の基本的な知識を持っている。用言の活用から助動詞に理解を深めている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態

		『蛇足』 ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、通して、日本文化をより深く理解する。 ・漢文訓読の基本事項を確認する。 ・平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 ・故事成語の話の内容を捉え、故事成語の現在使われている意味を理解する。	○			○ ○ ○	○ ○ ○	a:古代中国と現代日本の考え方のつながりを深く理解しようとし、音読によって漢文の調子に親しもうとしている。 ｄ:返り点、送り仮名を理解し、訓点付き漢文を正しく書き下し文に改めている。置き字・再読文字の意味・用法を理解し、正しく訓読している。 e:漢文の特徴と読み方、返り点について理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
二学期	随筆を読む	『伊勢物語』 ・歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。和歌を味読し、修辞技巧を理解する	○ ○			○ ○ ○	○ ○	a:音読し、重要語句の意味を古語辞典で調べ、自分の力で古文を理解しようとしている。 ｄ:内容を展開に即して理解し、登場人物の行動と心情を読み取っている。 e：本文を適切に口語訳している。助動詞の活用を理解し口語訳にいかすことができる。『伊勢物語』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
		『万葉集　古今和歌集　新古今和歌集』 ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌によまれた思想・感情・情景を読み取る。 ・和歌の修辞技巧やそれぞれの時代の表現・語法上の特色を理解する。	○ ○ ○	○		○ ○	○ ○ ○	a:和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとろうとしている。 ｂ:和歌の表現や読まれている心情などについて互いの感想を発表し合う。 d：和歌の表現を通して、思想・感情、情景を理解している。 e:和歌の修辞技巧を理解している。時代による違いを理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態

	古代の史話	『鶏口牛後』 著名な著名な史話について興味を持ち，内容を深く知ろうとする 文章に描かれた人物，情景，心情などを話の展開に沿って読み味わう 句法・語法を理解した上で，それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認する	○ ○ ○			○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:当時の時代背景を理解して話のおもしろさを味わおうとしている。 d：文章の内容を、話の展開に即して理解している。訓読を通して、登場人物の言動について理解し、その性格・人物像をつかんでいる。 e：句形の読み方と意味を理解している。中国の歴史書の概要について、理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
三学期	日記を読む	『土佐日記』 ・日記を読んで、人間・社会　な どに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞の識別や連接について理解する。	○ ○			○ ○ ○	○ ○	a 重要語句の意味を古語辞典で調べている。内容を理解しようとしている。 d: 本文を正しく音読し、古文の調子に親しむ。当時における舟での旅やそれにまつわる登場人物の心情を理解し、日記のおもしろさを理解している。 e：助動詞の意味用法について理解している。『土佐日記』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態

三学期	軍記物語を読む	『平家物語』 ・軍記物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・音便や敬語の種類について理解する。	○			○ ○	 ○ ○	ａ：読解を深めることで、物の見方、感じ方、考え方を広くしている。本文を音読し軍記物の独特の調子を味わおうとしている。 d：内容を構成や展開に即して登場人物の心情や生き方を理解している。 ｅ：助動詞の意味用法について理解している。和漢混交文、音便について理解している。敬語の種類と用法を理解している。軍記物語『平家物語』について文学史上の基本的な知識を持っている。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
	史話	『鶏鳴狗盗』 ・比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 ・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、故事成語・成句などを正しく理解する。 ・中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。	○ ○			 ○ ○	 ○ ○	ａ著名な史話について興味を持ち，内容を深く知ろうとしている。 ｄ文章に描かれた人物，情景，心情などを話の展開に沿って読み味わっている。 ｅ句法・語法を理解した上で，それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認したる。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態
	漢詩の鑑賞	『唐詩の世界』 ・唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 ・漢詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。	○ ○			 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a: 日本でも愛好されてきた漢詩の名作に関心を持ち、声に出して味わい、暗唱しようとしている。 d:漢詩と訳を読み比べて、各詩の情趣を把握している。漢詩の感情や情景を読み取っている。 e:詩の形式や押韻、対句等、漢詩のきまりについて理解している。	定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　c:書く能力　　d:読む能力　e：知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。